

<2024年11月9日>

米大統領選挙は激戦州を制したトランプが圧勝でした。総得票数でも優ると共和党候補としては20年ぶりらしいです。上院も共和党が過半数となり下院もその勢い、米国政策が大きく変わることは確実です。彼の勝因というよりハリスの敗因はトランプ批判に終始しすぎたことでしょう。

他国の政治家で最も喜んでいるのは露プーチン大統領とイスラエルのネタニヤフ首相でしょう。今までも本週報でそう述べてきました。その次にはサウジアラビア皇太子と北朝鮮の金正恩でしょう。安倍晋三氏のご存命ならこのクラスでしょう。

安倍氏が生きていたら統一協会や裏金で彼は同批判されていたのでしょうか。あるいは存命で自民党最大派閥を率いていたら統一協会も裏金も表ざたにはならなかったのでしょうか。

現実の話に戻すとトランプ復帰で最も影響ある地域は中東でしょう。彼が在任中に決定した東エルサレムへの大使館移転ですが、それ以前は占領地への入植を米国は黙認しつつも表立っては批判していました。共和党政権でも。トランプの行為は入植を肯定したものでイスラエルの西岸への入植を加速させ抵抗するパレスチナ人の投獄につながりました。それがハマスの奇襲の遠因となっています。

これから4年間、この週報は熱くなります。いや、トランプのことだから何らかの理屈をつけて三選出馬もあり得ます。大統領辞めたら刑事訴訟で有罪になるかもしれないのですから。上下両院を共和党が押えたら憲法や法律改正も可能になるでしょうし。

ところでトランプ当選でドル高に振れていますが違うだろという思いです。

<2024年11月16日>

前回、トランプのことだから何らかの理屈をつけて三選出馬もあり得ますと述べましたが既にその関心を示したとの報道があります。共和党が下院も押えましたので何が起きるかわかりません。また、トランプ当選でドル高に振れていますが違うだろという思いとも述べましたが、今週もドル高進みました。金曜日に戻しましたが来週どうなるのでしょうか。

原油価格は下落しました。需給要因によるものでリビアの生産増も影響しています。今後はオオカミ少年イラクの動向およびOPEC+の自主減産縮小をさらに延期するかどうかが目です。

イスラエルの唯我独尊がますますひどくなってきました。トランプに期待するところも大きいのでしょう

<2024年11月23日>

ついにイスラエルネタニヤフ首相らに対して国際司法が逮捕状を発しました。ハマス側にも出されていますが既に死亡した幹部に対してであり実質的にはイスラエルへの圧力と言えます。中東イスラム諸国は歓迎的、欧州は対応が分かれ米国はバイデンが言語道断と発しています。プーチンに対する対応が迅速だったのに対しネタニヤフには今回容疑とされたガザ住民への反人道行為が起きてから1年以上経過してからの逮捕状であり遅いと感じます。

北朝鮮がウクライナ戦争に派兵したのはロシアとの集団的自衛権行使なのかそれとも金で雇われたのかという疑問を持っていますが、北朝鮮が露産原油輸入を増やしているという報道がありました。これはお金がないロシアが現物で洋平料を支払った結果かと感じています。

インドでは二大財閥の一つであるAdaniは不正経理指摘と株式売り圧力を受けた痛手から立ち直ったところでしたが今度は米国検察から贈賄とそれを投資家に開示しなかった罪で訴えられ再び危機に陥りました。インド現政権に近い同財閥ですので嫌疑内容はいかにもありそうな感じがします。インド野党は与党攻撃の絶好の標的との姿勢です。今後注目です。

原油価格はWTIが\$70台を回復しましたが市場は懐疑的な動きです。長続きするかはOPEC+の対応と中国需要の回復次第です。

<2024年11月30日>

イスラエルとレバノンが 60 日間の停戦に合意しました。日本語ロイターなどでヒズボラとの合意と記述されていますが、合意したのはレバノン政府です。ヒズボラは交渉の蚊帳の外でした。停戦実効時間直前にイスラエルはそれまで攻撃していなかった地域を攻撃しています。イスラエルは停戦が兵士休息と兵器補充のためと述べています。またイスラエルとヒズボラは非難合戦および一部で武力行使も起きており、戦闘再開の可能性は高いと感じます。

レバノンで曲がりなりにも停戦合意したのはレバノン政府が相手だったためであり、ガザでは戦闘当事者のハマスと交渉しているので交渉はののしり合いに終始しています。パレスチナ自治政府という国連や近隣アラブ諸国が認めている期間がありますがイスラエルは相手にしておらずかつパレスチナ人からも支持されていないので有名無実化しています。ガザは停戦合意が全く見えません。

レバノンではヒズボラ戦闘員が集中的に攻撃されました。民間人の犠牲もありましたが、ガザに比べれば比率は少なさそうです。ガザではハマス撲滅を口実にパレスチナ人が済めない土地にしようとしているのがイスラエル政権の真意と 1 年前から主張していますがこの民間人犠牲者数。犠牲者に占める民間人比率がそれを証明すると思います。民間人犠牲でも南部のヒズボラ支持者が多いと思われます。

原油価格は OPEC+ の自主減産縮小を延期するかどうかですが延期に傾いています。延期すれば \$1 程度の上昇効果、延期しなければ \$10 クラスの下落効果があります。延期しかないでしょう。会議のポイントはイラクの生産枠順守問題と UAE の生産枠増を予定通り認めるかです。

トランプ当選確定後ドル高に振れました。鈴木は週報で違うと思うと述べ市場の勘違いを指摘しました。私的後もドル高が続きましたがようやくドル安に揺れ戻し出しました。日銀総裁発言もあり円は 149 円台を付けました。日銀は円高による株式市場への影響を最小限死すべく市場が勘違いしているうちに利上げを行おうという意図だと思います。